

立命館大学アート・リサーチセンター
 文部科学省 共同利用・共同研究拠点「日本文化資源デジタル・アーカイブ研究拠点」
 2018年度 共同研究成果報告書〔研究設備・資源活用型〕

2019年4月12日 提出

1. 研究課題名	
尾上松之助主演「実録忠臣蔵」(大正15年公開)スチール写真等のデジタル化・画像公開 (英文表記: _____)	
2. 研究代表者	
氏名(ふりがな)	所属機関・職名
松野 吉孝(まつの よしたか)	尾上松之助遺品保存会 代表
3. 研究分担者 (合計: 0 名)	
氏名(ふりがな)	所属機関・職名

4. 研究課題の概要
<p>昨年度取り組んだ、「尾上松之助・絵葉書ブロマイド・大入り袋入り・40作品のデジタル化・画像公開」に引き続き、日本映画草創期に「目玉の松ちゃん」の愛称で慕われ、1000本もの作品に主演した「日本映画初の大スター・尾上松之助」の「遺品・資料」のデジタル化に取り組むもの。</p> <p>既に、今後継続的に公開するため、「尾上松之助遺品保存会」と「学校法人立命館」との間で、「尾上松之助遺品保存会コレクションのデジタル写真およびデジタル資産の運用に関する覚書」を締結済み(平成30年5月14日付)にて、目下、その受け皿となる「目玉の松ちゃん・尾上松之助 活動写真デジタル資料館」の立ち上げ準備中。今年度公開を目指す「実録忠臣蔵」(大正15年公開)は、松之助最晩年の大作で、平成28年その完全版フィルムが発見され大きな話題となった作品。京都国際映画祭、東京国際映画祭のほか、海外でも取り上げられていることから、その資料価値は大きいものと考えます。</p> <p>今後更に「松之助所縁の鎧」「犬養毅から贈られた、緞帳目録」等「遺品実物」のデジタル化にも取り組む。</p>
5. 研究成果の概要
<p>(1)「尾上松之助・大入り袋入り・絵葉書ブロマイド」の公開開始(2018年6月15日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予定通り、大入り袋入り・40作品の絵葉書ブロマイドの公開開始。 <p>(2)「目玉の松ちゃん・尾上松之助 活動写真デジタル資料館」の開設(2018年6月15日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ARC・HP、「Virtuar Institute」に開設して頂き、一般の方にも、閲覧し易い形でスタート。 ・またこの活動写真デジタル資料館を受け皿として、今後、数々の松之助遺品資料のデジタル化を進めるとともに、将来的には、「目玉の松ちゃん・尾上松之助」の名前は外し、幅広い資料の収納に努める所存。 <p>(3)「尾上松之助・忠臣蔵写真データベース」の公開開始(2018年12月7日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「忠臣蔵写真データベース」の公開に合わせて、「遺品資料データベース」「広報資料データベース」の公開も開始。アルバム実物、ポスター、パンフレットなどの公開開始。